

第 1 回 下野市総合計画審議会会議録

日 時 平成 18 年 9 月 25 日 (月) 10 : 00 ~ 12 : 00
場 所 下野市役所国分寺庁舎 304 会議室
出席委員 須藤勇委員、伊澤剛委員、野田善一委員、伊澤敬一郎委員、高田憲一委員、
中村祐司委員、早川進委員、中島一成委員、長光博委員、柴山征吉委員、
大島昌弘委員、倉井徳勇委員、小川榮一委員、吉崎賢介委員、関京子委員、
高山トミイ委員、岡田雅代委員、近藤由紀子委員、大貫理委員、高山和典
委員、石田文治委員、金子康法委員
欠席委員 なし
出席者 広瀬市長、篠崎助役、野口総務企画部長
事務局 (企画財政課)
篠崎課長、小口主幹兼課長補佐、長主幹兼係長、福田副主幹、濱野副主幹、
坂本主事補
傍聴人 なし

次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 市長挨拶
- 4 会長選任
- 5 諮問
- 6 会長挨拶
- 7 議事
- 8 閉会

委嘱状交付

広瀬市長から 22 名の委員へ委嘱状の交付が行われた。

市長挨拶

合併以降、今まで新市建設計画に基づいて行政運営を進めてきたが、自治法上、合併後すみやかに総合計画を策定する必要がある。総合計画において、下野市の将来・未来像を明確に記載し、道筋をはっきりさせる必要がある。この総合計画の策定にあたっては、市民参画を基準にしたい。また、旧 3 町で様々な計画のもとに歴史を持って取り組んできた、その歴史を大事にしなが、さらに新しい市としての視点も取り

入れて策定したいと考えている。審議会においてはさまざまなご見識をお持ちの皆様にお集まりいただいたと感じている。市を愛していただける第一人者として、よりよい計画を策定いただけるようお願いしたい。

会長選任

(座長：広瀬市長) いかがな方法で選任するのがよいか？

(関委員) 執行部案は？

(野田委員) 旧3町で三角構造になっている。公平で客観的な視点で会を進行していただけるとの考えから、中村委員を推挙したい。

(座長) 執行部案も同様に考えていた。

(委員) 異議なし。

会長挨拶

(中村会長) 深い知恵とアイデアをお持ちの皆さまが参集された。今後の公共サービスは行政だけでなく、市民、民間、NGO・NPOの組み合わせを考えていくべき。行政と委員の共同作業で進めていきたい。

議事

1) 審議会の運営方法について

(事務局) 運営方法について説明(資料1)

(小川委員) 議事録について要点のみ記載する方法には同意するが、署名人だけでなく発言者の確認を求めたい。中央官庁では発言者に確認している。

(中村会長) 自分の発言だけでは文脈がわからない。他の委員の発言も含め、全体をお渡ししないと物理的に問題はないか。

(小川委員) 本人にポイントだけは確認すべき。

(岡田委員) 時間的な観点から考えると、全委員に確認するとなると時間がかかりすぎる。

(近藤委員) 議論の流れが大切。後から、自分の趣旨とは違うとして修正すると混乱する。次の審議会での発言を訂正すればよいのでは。

(金子委員) メールを使っただけのやりとりはメールを使っていない人がいるため不適切との発言があったが、メールを使っていない人がいるという前提か？確認すべきでは。

(中村会長) 少ないながら、使っていない人がいる。

(近藤委員) メールにはあまり信頼性を置いていない。

(中村会長) 議事録については、次回の会議までに議事録(案)として事前送付してもらい、次回の会議で確認をすることにする。

- (金子委員) 終了時間も設定してほしい。
- (事務局) 時間は2時間を考えている。
- (中村会長) 次回からは、開会の案内や会議次第に終了時間の明記を行っていただきたい。
- (大島委員) 組織の代表で本審議会に参加している人は定例会があり、日程が合わない可能性がある。なるべく定例会の日を外してほしい。
- (金子委員) 次の会議の日程は早めに決めてほしい。
- (長委員) 次回の会議日程を今日決められないのか？
- (事務局) 策定作業自体の流れが確定していないので、今回は11月頃の予定ではあるが、正確な日にちを決めるのは難しい。極力配慮する。
- (中村会長) 今回の署名委員を須藤委員、伊澤委員にお願いする。
- (須藤委員) 署名委員は、毎回変わるのでは？
- (中村会長) それでは、名簿の順にお願いする。

2) 総合計画策定方針について

- (事務局) 策定方針について説明(資料2)
- (岡田委員) 質問2点。第1に、新市建設計画との整合性とは、書かれていないものを追加するということか？第2に懇話会の役割は何か？
- (事務局) 1点目について、新市建設計画を十分尊重しながら、更によりよいものにすること。2点目について、懇話会での中間報告は審議会に報告する。また、提言等をまとめることができれば、審議会に提出してもらい、審議会で参考にする。
- (岡田委員) 懇話会の提言は、ある程度まとまったものがこちらに出てくる。素材の段階でもよい意見があるので、提言等にまとめる前のものを見せてほしい。
- (石田委員) 審議会は固いが、懇話会はフランク。懇話会のやり方は自ら決めてもらえばいい。お互いを尊重して自立的にやるべき。
- (岡田委員) 懇話会に介入するつもりはない。プロセスを把握しておきたい。
- (石田委員) 議事録でやり取りするのはどうか。
- (中村会長) 関心があれば、懇話会に傍聴するなどしてはどうか。
- (事務局) 懇話会は非公開で実施する予定であり、提言書などある程度ものが出てからお示ししたい。
- (石田委員) 懇話会から学識経験者に審議してほしいなどという話があれば、それに応じて対応するという姿勢が大切。

- (近藤委員) 懇話会の位置づけについて、懇話会は非公開か。懇話会は市民の意見を聞く場という位置づけか。
- (事務局) 委員のご指摘のとおり。
- (金子委員) 懇話会の議事録も非公開か？
- (事務局) 懇話会の議事録も非公開である。
- (中村会長) 会議は生き物、審議会としては、当初は懇話会の議論を見守るべき。
- (伊澤敬委員) 懇話会のメンバーは公開か？選出プロセスはどうなっているのか？
- (事務局) メンバーは公開している。選出は学識経験者が10名、公募が7名で計17名。

3) 全体スケジュールについて

- (事務局) スケジュールについて説明(資料4)

4) その他

アンケート調査について

- (事務局) アンケート調査について説明(参考資料)
- (中村会長) アンケートの件は重要と思われる。傾斜配分をして20代からの意見を重視しているということであるが、何か意見は？
- (石田委員) アンケートのCの欄は対応するAの欄に比べて回答数が少ないが、絞込みをしたいという意向か？
- (事務局) 委員のご指摘のとおり、絞込みをしたいという意図がある。どの項目も重要となっては差が出ない。回答者の属性と組み合わせて、明確性を追求したい。
- (中村会長) Cの欄で受けきれない市民の思いについては、問12の自由記入欄で吸い上げられるだろう。
- (事務局) アンケート集計の際には、自由記入欄は全文入力するが、審議会には何らかの加工をしたものを提出することになる。

タウンウォッチング・次回開催について

- (事務局) タウンウォッチングと次回開催について説明(参考資料)
- (中村会長) 次回から、形式的に分野別に議論するのではなく、各自の問題意識で分野にかかわらず意見を出してほしい。

以上